

東白の松風

公立学校退職校長会東白川支部
発行責任者 古張金一
◆創刊 平成2年8月1日

<支部長挨拶>

「社会参加」に向けて

退職校長会東白川支部長 古張 金一



令和6年度の役員改選に当たり、会員の皆様方にご推挙いただき、大役を仰せつかりましたこと、大変な驚きで、緊張しております。副支部長として4年が経過しましたが、コロナ禍もあり、会員相互の親睦もままならないで3年が経過し、昨年度、会員の深いご理解により、茶話会を開催し交流を深めることができました。皆様方に心から感謝申し上げます。

今年度より、支部長としての役割を担っていくことには、大変な重責と身の引き締まる思いしております。前任の支部長さん始め、旧役員の方々には、会発展のためにご尽力いただきましたこと、お疲れ様でした。引き続き役員を務めていただきます皆様方、新たに役員となられた皆様方には、なお一層のご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。組織の一員としてのご活躍を頂きますれば、大変ありがたく心強い限りです。前任者のご指導をいただきまして、微力ではありますが、東白川支部の発展のため努力してまいります。

教育界は、働き方改革や教職員の処遇の在り方、ICTの活用による業務の整理、部活動の在り方など、難しい課題があります。とりわけ東白川地区の学校現場にとっては、経験豊富な教師の確保や地元出身の教員の育成など、大きな課題もあります。現職教員の皆様との交流や教育委員会との懇談、支援活動に積極的に取り組むなど退職校長会として可能な限り協力し、少しでもお役に立てればと考えております。

また、退職校長会の地域社会での文化活動は、教育の振興につながっていくものと考えております。例えば、今年度の総会における研修会では、会員の方に講師をお願いし、地元の日本画家の作品紹介と小学校での20年続く墨絵教室の様子をについて講話いただきました。地域の貴重な教育活動について学ぶことができました。

今年度も寿詞、賀寿、賀詞など受賞される先輩の方々がおられます。誠におめでとうございます。さらなるご活躍、ご健勝をご祈念いたします。

本会は、会員相互の親睦、生活の向上、管内の教育向上・発展に寄与することを目的としております。教育現場の教員の皆様と交流を深め、教育の振興、社会活動の充実につなげていければと考えます。会員の皆様方には、大変お世話になりますが、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げまして挨拶と致します。



令和6年度 東白川支部総会・研修会・懇親会を開催

令和6年 4月20日(土) 新富家会館

【総会】

27名の会員の出席のもとに行われました。

支部長挨拶のあと、ご来賓の東白川郡教育長代表の菊池篤志様、東白川郡校長協議会長の藤田篤様よりご祝辞をいただきました。来賓のご出席は、5年ぶりです。

事業計画では、現職校長会との懇談会を今年度は実施する予定であることなど、コロナ前の計画に戻りました。研修旅行については、参加人数や予算の関係などから、隔年開催となり、今年度は休止することになりました。

今年度は役員改選が行われ、支部長には古張金一先生が選出されました。新役員については、右記のとおりです。

【研修会】

総会終了後、本会会員の萩原照夫先生から、「郷土の偉人～藁谷耕人先生～」の演題でご講演をいただきました。

耕人画伯の多くの作品が並ぶ中で、耕人画伯の人柄や画歴、棚倉小学校での20年間続いている水墨画指導などについてお話をいただき、故郷の偉人について改めて深く知ることができました。



<総会の様子>



<来賓の挨拶>

役職名	氏名
顧問	萩原 照夫・下重 康仁
支部長	古張 金一
副支部長	藤田 充・面川 春男
監事	秋山喜久男・山本 純
評議員	棚倉 絞川 佐藤 勝久・矢吹 政徳 郷田 均・中野喜久枝
	塙 矢祭 佐川 幸信・伊藤 弘行 深谷 昇司
幹事	庶務 永山 陽一
	会計 大越 憲峰
	広報 西牧 武美・吉田 信也
ボランティア	根本 秀一・矢吹 政徳
県評議員	古張 金一・永山 陽一



<萩原先生のご講演>



<クラブ打合せの様子>



<懇親会での語らいの様子>

【クラブ打合せ】

研修会終了後にクラブ打合せを行い、どのクラブもコロナ前の活動ができてきていることから、活気にあふれた話し合いをすることができました。各クラブ活動計画については、後掲のとおりです。

【懇親会】

昨年度は「茶話会」を行いましたが、今年度は、5年ぶりに懇親会が開催されました。久しぶりにお酒を酌み交わしながら情報交換をするなど、楽しいひとときを過ごすことができました。



~~~~< お 帰 り な さ い >~~~~

「ホーム・グラウンド」



鮫川村立鮫川小学校長 吉田 智

「おかえりなさい」のメッセージカードが校長室の机上に飾られていました。校長としては2校目となりますが、鮫川小学校は5年前までの2年間、教頭として務めた学校です。懐かしい校舎と懐かしい人たちに囲まれ、心穏やかに新年度のスタートを切ることができています。

私の出身はいわき市泉ですが、棚倉に住み始めて29年が経とうとしています。東白川で務めた学校は棚倉小学校の7年間で皮切りに、片貝小学校2年間、石井小学校4年間、鮫川小学校に教頭として2年間、矢祭町教育委員会指導主事として2年間と、教員生活の半分以上をこの地で過ごしてきました。そして今回の異動で再び鮫川小学校へ。私にとっては東白川がまさにホーム・グラウンドです。その長い東白川での教員生活の中で多くの先輩方に、教師としてまた管理職として大切なことをご指導いただき、たくさんのことを学ばせていただきました。これまで教え導いてくださった先輩方や東白川の地に、少しでもご恩をお返しできるように、鮫川小学校で精一杯努力してまいります。目の前の子どもたちの笑顔と健やかな成長のため、そしてチーム鮫川の教職員のため、微力ではありますが心を込めて学校経営をしてまいりますので、退職校長会の皆様には、引き続きご指導とご鞭撻をいただけますようお願い申し上げます。



根本忠義先生が賀詞を受けられました。誠にありがとうございます。  
賀詞を伝達後、記念撮影を行い、思い出を語っていただきました。

賀詞 < 根本忠義先生 >

88歳 昭和11年4月29日生



支部長、副支部長と庶務が訪問し伝達しました。

根本先生の初任校は、いわき市合併前の内郷市立内町小学校で、当時は常磐炭鉱関係者の子どもが多く、約1800人の学校で、その約8割が炭鉱関係者で、一学級定員が55人の時、52人の学級担任をしたそうです。最初は下宿先がなかなか見つからず、10日程宿直室にお世話になっていたそうです。家庭訪問も炭鉱関係者の同じような社宅がたくさんあり、子ども達に次の家を案内してもらいながら、なんとかやり終えたそうです。その2年後、人事異動で2校目として塙町立高城小学校に転任が決まり、東白川に戻ることができたそうです。

鮫川村には縁があって、青生野小学校教頭、村教育委員会派遣社会教育主事、そして村教育長として3回お勤めしたそうです。鮫川村教育長時代の思い出は、青生野以外の村内5つの小学校の統合があり、そのお話を聞かせていただきました。

現在はお医者さんと仲良くしながら暮らしていると、笑顔でお話してくださいました。

これからも、長い教職経験で培った経験を、本支部のためにお聞かせくださいますようお願いいたします。今後、ますますご健勝でお過ごしくださいますようご祈念申し上げます。

令和6年度のクラブ活動計画

【山野草クラブ】 部長 山本 純 会員数 7名

- 基本計画 ・自然に親しみながら、会員の心身の活性化を図るとともに親睦を深める。
- 事業計画 ・年2回の研修を実施する。
  - ・山野草の生息地を訪ね、自然に親しむとともに、山野草に対する理解を深め、栽培活動に生かす。



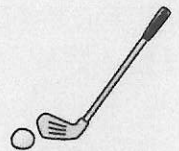
【東南クラブ】 部長 渡邊 勇喜 会員数 5名

- 基本計画 ・場の展開に応じた牌の並べ方を工夫し、脳の活性化を図るとともに、クラブ員の親睦を深めていく。
- 事業計画 ・学期に一回くらいずつ、午前9時頃より午後3時頃まで開催する。



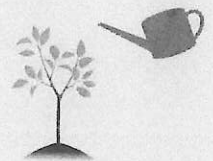
【ゴルフクラブ】 部長 面川 春男 会員数 14名

- 基本計画 ・ゴルフコンペに積極的に参加し、会員相互の親睦を図る。
  - ・自然に親しみながら、広々としたゴルフコースを歩き、健康の保持に努める。
  - ・ゴルフのプレーを楽しみ、技術の向上を目指す。
- 事業計画 ・コンペは、5月から11月までとし年5回を定例会として実施し、平日を開催日とする。
  - ・部員の希望に応じ、定例会以外のコンペを実施することもできる。それ以外の合同コンペを行うこともできる。<実績：現職との交流【7月】>
  - ・経費は部費（年会費1,000円）と本会からの補助金及び前年度の繰越金を充てる。
  - ・参加者が6人に達しない場合は、その回のコンペは中止とする。



【園芸クラブ】 部長 生方 和廣 会員数 17名

- 基本計画 ・季節に応じた野菜や花を育てる。
- 事業計画 ・4月から原則月1回行う。年間で冬季を除き、8回となる。



<コロナ前に戻った総会の様子>



<さくらんぼ>

**編集後記**

令和6年度、コロナ前の総会に戻り、新体制でスタートしました。今年度もご協力をよろしくお願いいたします

左の写真は、古張支部長さんの自宅で収穫したさくらんぼだそうです。